



## 2019年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年7月30日

上場会社名 アークランドサービスホールディングス株式会社  
 コード番号 3085 URL <http://www.arclandservice.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 臼井 健一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経理部部长 (氏名) 桑原 康弘

TEL 03-5217-1531

四半期報告書提出予定日 2019年8月8日

配当支払開始予定日

2019年9月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第2四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第2四半期	15,901	9.9	2,177	9.8	2,189	9.2	1,217	4.1
2018年12月期第2四半期	14,469	16.2	1,983	6.4	2,004	5.2	1,269	6.3

(注)包括利益 2019年12月期第2四半期 1,267百万円 (2.2%) 2018年12月期第2四半期 1,295百万円 (4.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第2四半期	38.25	37.17
2018年12月期第2四半期	39.88	

(注)2018年12月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第2四半期	26,401	19,352	71.5	593.27
2018年12月期	25,854	18,402	69.7	566.25

(参考)自己資本 2019年12月期第2四半期 18,886百万円 2018年12月期 18,026百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		10.00		10.00	20.00
2019年12月期		12.00			
2019年12月期(予想)				12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	11.1	4,480	8.8	4,500	8.8	2,600	3.2	81.67

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期2Q	33,096,000 株	2018年12月期	33,096,000 株
期末自己株式数	2019年12月期2Q	1,261,400 株	2018年12月期	1,261,400 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期2Q	31,834,600 株	2018年12月期2Q	31,834,658 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
- 2.当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

・2019年7月30日(火)……機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループは、既存事業の商品力と出店の強化、新業態の開発、店舗におけるQ S C Aの維持・向上による客数拡大、人材の確保と教育の強化に取り組んでまいりました。

かつや(国内)につきましては、既存店売上高の確保と更なる売上拡大に力を注ぎ、5回のフェアメニューと2回のキャンペーンに加え、1回のスーパー・ハングリー・セールを実施した結果、1～6月の既存店売上高前年比は、直営店において98.6%、F C店におきましては98.8%と推移いたしました。また、既存店3店舗、F C店1店舗で改装を実施いたしました。

出退店につきましては、直営店3店舗・F C店9店舗の出店、直営店3店舗・F C店1店舗を閉店したことにより、当第2四半期末の店舗数は純増8店舗の397店舗となりました。

からやま・からあげ縁(国内)につきましては、新規出店による売上拡大とフェアメニューやキャンペーンを実施いたしました。

出退店につきましては、「からやま」直営店3店舗・F C店6店舗の出店、直営店1店舗の閉店、「からあげ縁」F C店1店舗の出店、F C店4店舗を閉店したことにより、当第2四半期末の店舗数は純増5店舗の91店舗となりました。

海外事業につきましては、「かつや」F C店5店舗の出店、直営店3店舗の閉店、「からやま」F C店1店舗の出店、F C店1店舗の閉店、「野菜を食べるカレーcamp」F C店1店舗を出店したことにより、当第2四半期末の店舗数は純増3店舗の56店舗となりました。

その他の出退店につきましては、直営店1店舗の出店、F C店6店舗を閉店したことにより、当第2四半期末の店舗数は純減5店舗の27店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期末の総店舗数は純増11店舗の571店舗となり、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高15,901百万円(前期比9.9%増)、営業利益2,177百万円(前期比9.8%増)、経常利益2,189百万円(前期比9.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益1,217百万円(前期比4.1%減)となりました。

なお、当社グループは外食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### (流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は18,779百万円となり、前連結会計年度末の18,289百万円から490百万円増加いたしました。その主な要因は、売掛金が64百万円、商品及び製品が76百万円減少し、現金及び預金が695百万円増加したためであります。

##### (固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は7,622百万円となり、前連結会計年度末の7,565百万円から56百万円増加いたしました。その主な要因は、のれんが34百万円減少し、投資有価証券が96百万円増加したためであります。

##### (流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は3,857百万円となり、前連結会計年度末の4,283百万円から426百万円減少いたしました。その主な要因は、買掛金が343百万円、未払費用が110百万円減少したためであります。

##### (固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は3,192百万円となり、前連結会計年度末の3,168百万円から24百万円増加いたしました。その主な要因は、受入保証金が19百万円、資産除去債務が12百万円増加したためであります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は19,352百万円となり、前連結会計年度末の18,402百万円から949百万円増加いたしました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益1,217百万円の計上がありました。また、配当金318百万円を支払ったためであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末と比較して695百万円増加し、16,565百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、1,513百万円(前期比23.5%減)となりました。

これは主に、税金等調整前四半期純利益2,082百万円、現金支出を伴わない減価償却費216百万円があったものの、法人税等の支払額852百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、512百万円(前期比41.0%減)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出320百万円、投資有価証券の取得による支出117百万円、敷金及び保証金の差入による支出121百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、299百万円(前期比57.1%増)となりました。

これは主に、預り保証金の受入による収入29百万円、配当金の支払額318百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年2月8日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,869	16,565
売掛金	1,446	1,382
商品及び製品	339	262
原材料及び貯蔵品	95	62
その他	543	510
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	18,289	18,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,935	3,919
機械及び装置(純額)	225	208
その他(純額)	99	110
有形固定資産合計	4,260	4,238
無形固定資産		
のれん	134	100
その他	28	28
無形固定資産合計	162	128
投資その他の資産		
投資有価証券	387	483
繰延税金資産	379	407
敷金及び保証金	1,350	1,359
建設協力金	742	754
長期貸付金	141	137
その他	140	112
投資その他の資産合計	3,142	3,254
固定資産合計	7,565	7,622
資産合計	25,854	26,401
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,704	1,360
未払費用	755	644
未払法人税等	824	767
賞与引当金	—	66
株主優待引当金	65	77
その他	934	939
流動負債合計	4,283	3,857
固定負債		
社債	2,010	2,010
受入保証金	760	780
資産除去債務	382	394
その他	14	7
固定負債合計	3,168	3,192
負債合計	7,452	7,049

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,932	1,932
資本剰余金	1,889	1,889
利益剰余金	14,282	15,181
自己株式	△79	△79
株主資本合計	18,024	18,924
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2	1
為替換算調整勘定	△0	△38
その他の包括利益累計額合計	1	△37
非支配株主持分	376	465
純資産合計	18,402	19,352
負債純資産合計	25,854	26,401

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
売上高	14,469	15,901
売上原価	6,842	7,520
売上総利益	7,627	8,381
販売費及び一般管理費	5,643	6,203
営業利益	1,983	2,177
営業外収益		
受取利息	4	4
リベート収入	7	7
協賛金収入	8	12
雑収入	10	12
営業外収益合計	32	37
営業外費用		
持分法による投資損失	3	18
為替差損	5	5
雑損失	1	1
営業外費用合計	10	25
経常利益	2,004	2,189
特別利益		
店舗譲渡益	34	18
その他	2	—
特別利益合計	36	18
特別損失		
固定資産除却損	22	8
店舗閉鎖損失	1	86
減損損失	—	26
その他	—	3
特別損失合計	24	125
税金等調整前四半期純利益	2,016	2,082
法人税、住民税及び事業税	792	802
法人税等調整額	△92	△27
法人税等合計	700	775
四半期純利益	1,316	1,306
非支配株主に帰属する四半期純利益	46	89
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,269	1,217



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,316	1,306
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2	△0
為替換算調整勘定	△16	△16
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	△21
その他の包括利益合計	△20	△39
四半期包括利益	1,295	1,267
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,248	1,178
非支配株主に係る四半期包括利益	46	89

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,016	2,082
減価償却費	201	216
のれん償却額	50	35
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	65	66
固定資産除却損	22	8
店舗閉鎖損失	1	86
減損損失	—	26
店舗譲渡益	△34	△18
持分法による投資損益 (△は益)	3	18
受取利息	△4	△4
売上債権の増減額 (△は増加)	351	63
たな卸資産の増減額 (△は増加)	8	109
その他の資産の増減額 (△は増加)	35	84
仕入債務の増減額 (△は減少)	△435	△343
その他の負債の増減額 (△は減少)	297	△85
その他	23	17
小計	2,602	2,363
利息の受取額	2	2
法人税等の支払額	△627	△852
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,978	1,513
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△731	△320
投資有価証券の取得による支出	—	△117
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△55
敷金及び保証金の差入による支出	△201	△121
敷金及び保証金の回収による収入	45	45
店舗譲渡による収入	34	18
その他	△15	36
投資活動によるキャッシュ・フロー	△869	△512
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
預り保証金の受入による収入	79	29
預り保証金の返還による支出	△7	△2
配当金の支払額	△254	△318
その他	△7	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△190	△299
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△6
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	914	695
現金及び現金同等物の期首残高	11,967	15,869
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,882	16,565

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。